

議会報告会開催概要（阿寒地区）

開催日時	平成 24 年 7 月 8 日（日） 14：00～15：40
開催場所	阿寒町公民館（視聴覚室）
参加人数	14 人
出席議員	黒木 満議長 村上和繁議員（座長・議会運営） 石川明美議員（総務文教） 鶴間秀典議員（経済建設・石炭対策） 松永征明議員（民生福祉）
質疑応答の内容	<p>問：阿寒病院の今後の方向性として、どのような議論になっているのか。</p> <p>答：院内でプロジェクトチームが作られ、まずは院内の改革を進めることとなる。また、コンサルタントなど第三者を入れて検討してはどうかという話も出ているところである。</p> <p>問：アイヌシアターがオープンしたが、採算はとれる見通しなのか。</p> <p>答：設計段階から議会でも議論されている。現在、運営団体においてさまざまな取り組みを行っており、その動向を注視していきたい。</p> <p>問：阿寒本町に関するものとして、どのような振興策が検討されているのか。</p> <p>答：阿寒町については、道路整備、観光・農林業の振興が挙げられるが、具体的に進められているものとしては特に承知していない。なお、平成 27 年度に阿寒インターが開通の予定となっているので、関連して阿寒本町の振興についての計画を練っていきたい。</p> <p>問：阿寒湖畔地区で地熱発電の話があったが、科学的根拠をもって可否を判断すべきと考える。また、他の地域でも検討すべきではないか。</p>

	<p>答：地熱発電については、阿寒湖畔では温泉やマリモへの影響が懸念されることから、調査には同意しないこととなった。それ以外の地域については、特に話が出ていない状態である。</p>
議会への要望	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民協働というが、阿寒病院やフィットネスセンターの問題を見ると、市民の声を聴いているのか疑問である。議会はしっかりと市政を見て、また、議員が直接現地に入って市民の声を聴いてほしい。 2 地域振興のためには、生産だけではなく加工も大事と考える。酪農、農産品の技術振興を図ってほしい。
市への要望	<ol style="list-style-type: none"> 1 合併してから、議会が遠くなったと感じている。必要な情報はホームページでも見られるとのことだが、高齢者はパソコンには疎く、また議会の傍聴にもなかなか行けない。議会傍聴のためのバスを市で出してもらえないか。 2 赤いベレーの水風呂の温水が数日前から止まっている。経費削減のため止めたのか。いずれ赤いベレーも民営化になるのではと不安をおぼえる。 3 市役所に問い合わせをしても、本庁と行政センターで見解が異なり、困惑することがある。